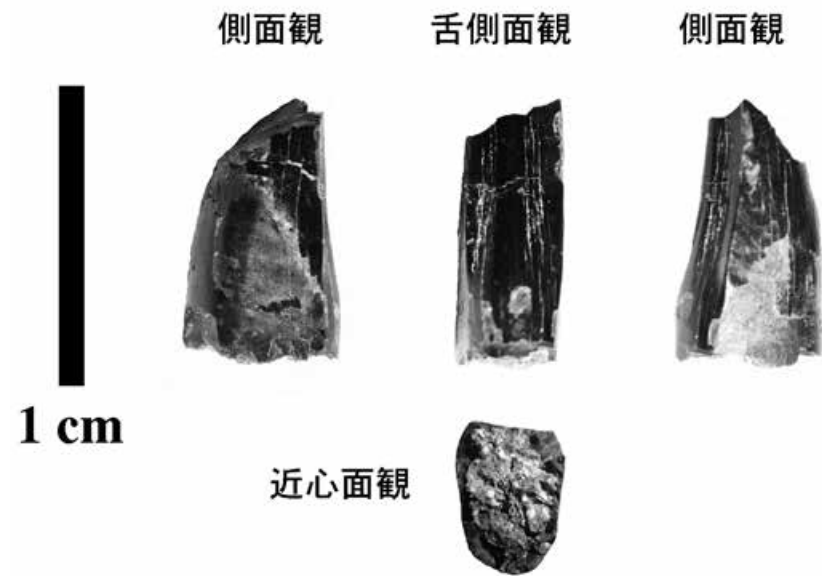


ティラノ サウルス類の 歯化石発見！



上/発見されたティラノサウルス類の歯化石（前上顎骨歯）
右/ティラノサウルス類復元画



© 2019 小田 隆 (提供：久慈琥珀博物館)



久慈の肉食恐竜

～ティラノサウルス類発見！～

久慈琥珀博物館では、企画展を開催中！ 今回発見されたティラノサウルス類の歯化石など、今までに発見された化石を展示しています。

▶期間…8月19日(月)まで

▶開館時間…9時～17時(入館は16時30分まで)

▶入館料…大人：500円、小中学生：200円

圃久慈琥珀博物館 ☎ 59-3831

久慈層群玉川層から発見された主な脊椎動物化石

平成 15 年	日本で唯一の琥珀採掘体験場が完成
平成 15 年	ワニの歯化石を発見
平成 18 年	アドクス(絶滅したカメ類)の甲羅化石を記者発表
平成 21 年	琥珀採掘体験場から岩手県内で2例目の恐竜となる「鳥盤類」の腰骨(坐骨)化石を記者発表
平成 22 年	琥珀採掘体験場から翼竜類の化石を発見
平成 24 年	早稲田大学による発掘調査で大型植物食恐竜(竜脚類)の歯化石を発見
平成 27 年	調査地より白亜紀後期ではアジア初となる「コリストデラ類」(絶滅した水生は虫類)を学会発表
平成 28 年	調査地より岩手県初の肉食恐竜の歯化石を発見

久慈琥珀博物館の琥珀採掘体験場から、ティラノサウルス類の歯化石が発見されました。4月19日には、早稲田大学で記者会見が行われ、遠藤譲一市長、久慈琥珀博物館の新田久男館長、早稲田大学の平山廉教授らが参加し、調査の結果を発表しました。この化石は、平成30年6月に琥珀採掘体験場で採掘体験をしていた門口裕基さん(宮古市在住)が発見。平山教授と国立科学博物館の對比地孝亘研究主幹の共同研究により、ティラノサウルス類のものであることが判明しました。

国内初の白亜紀後期のティラノサウルス類

今回発見された歯化石の高さは約9mm。歯の断面がD字型であること、舌側面中央部に隆起が見られるという独自の特徴から、ティラノサウルス類の前上顎骨歯であると考えられます。歯の大きさから恐竜の全長は約3mと推定されます。

日本国内では、ティラノサウルス類の化石とされるものは8点報告されています。この中で、前上顎骨歯のような確実な資料は福井県、石川県、兵庫県で発見された3点。この3点は白亜紀前期の化石であり、今回発見された化石は、白亜紀後期では国内初の確実なティラノサウルス類であると考えられます。

琥珀と恐竜の大地・久慈
今回化石が発見された琥珀採掘体験場周辺は、久慈層群玉川層という白亜紀後期・約9千万年前の地層。この地層は平成24年3月から、平山教授によって発掘調査が継続して実施されており、これまでに体長20m級の大型植物食恐竜(竜脚類)やカメ類、ワニ類、サメ類など20種類を超える脊椎動物化石が約1800点発見されています。

琥珀採掘体験場からは、ほぼ完全なカメ類の甲羅、小型植物食恐竜の腰骨、翼竜の翼の一部など、白亜紀当時の陸生脊椎動物の化石が続々と発見されています。

久慈市は琥珀と恐竜時代の化石が眠るとも貴重な地域。皆さんも恐竜化石の発見者になれるかも…。